DDF-KGCA-NCC

ENG
한국어
中國語
日本語

胃がん医療における東西の融合：
発症からその後の生活へ、患者さんが歩む道のり

患者さんのための 国際 教育シンポジウム

2026年10月31日（土）

午前9:00～正午（日本時間）

ソウル大学校病院

101 Daehak-ro, Jongno District, Seoul, South Korea

胃がんの治療と研究における最新の進歩に焦点を当て、学び、語り合い、
つながる充実した時間を過ごしませんか。
第一線で活躍する専門家をはじめ、患者の皆様、ご家族や介護をされる方、
そして支援者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加無料

現地（会場：韓国）参加とオンライン参加によるハイブリッド形式で。

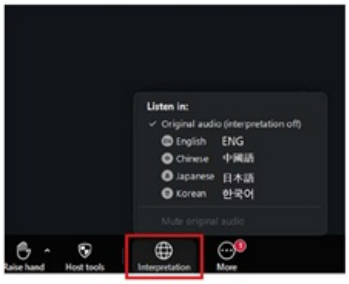
オンライン参加（Zoom）

事前登録を済ませてから、Zoomにご参加ください。

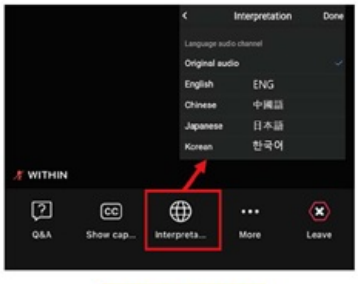
オンライン参加（Zoom）

- パソコンからの参加：リンクをクリックするだけで簡単にご参加いただけます。
- スマートフォンからの参加：開催前にZoomアプリをインストールしていただく必要があります。

★ 日本語・中国語・韓国語の同時通訳をご利用いただけます。
以下の画像をご参照のうえ、通訳チャンネルからご希望の言語をお選びください。



<PC version>



<Mobile version>

PROGRAM

09:00–09:15	開会のご挨拶	Amanda Pullinger (Debbie's Dream Foundation, USA) Hyuk-Joon Lee (Korean Gastric Cancer Association, Korea) Yelena Y. Janjigian (USA)
09:15–10:00	**Session I:** **胃がん治療の第一歩：早期発見が大切な理由**	Chairs: Souya Nunobe (Japan); Lin Chen (China)
09:15–09:30	同じ胃がん、異なる経験：東洋と西洋の胃がん事情	Takeshi Sano (Japan)
09:30–09:45	胃がんをより早く見つけるために： 韓国の経験から学ぶ	Han-Kwang Yang (Korea)
09:45–10:00	胃がんが早く見つかったら？ 大きな手術をせずに治療する方法	Takuji Gotoda (Japan)
10:00–10:55	**Session II:** **手術が必要になったとき：東洋と西洋のさまざまな治療法**	Chairs: Natalie Coburn (Canada); Seong-Ho Kong (Korea)
10:00–10:15	進化する胃がん手術：体への負担が少ない手術	Lin Chen (China)
10:15–10:30	胃の働きをできるだけ残す胃がん治療	Hyuk-Joon Lee (Korea)
10:30–10:45	胃がん手術後の生活：回復と生活の質	Seungkee Ra (Korea)
10:45–10:55	Discussion (意見交換)	Daisuke Ichikawa (Japan); Joong-Min Park (Korea)
10:55–11:35	**Session III:** **進行した胃がんと向き合うとき：治療の選択肢とこれからの歩み**	Chairs: Do-Youn Oh (Korea); Peng Zhi (China)
10:55–11:10	胃がん治療の新しい進歩：注目される最新の治療法	Yelena Y. Janjigian (USA)
11:10–11:25	ステージIVの胃がん：どのような治療が受けられる？	Jeeyun Lee (Korea)
11:25–11:35	Discussion (意見交換)	Dong-Hoe Koo (Korea)
11:35–12:00	**Session IV:** **患者さんが主体となる胃がん医療：アジアと欧米の取り組み**	Chair: Daisuke Ichikawa (Japan)
11:35–11:50	アジアからの視点	Bang-Wool Eom (Korea)
11:50–12:00	欧米からの視点	Amanda Pullinger (DDF, USA)
12:00–12:05	閉会のご挨拶	Amanda Pullinger (Debbie's Dream Foundation, USA)
12:05–12:10	閉会のご挨拶	Han-Kwang Yang (National Cancer Center, Korea)

Organized by

Supported by